

会報

明石のぼうさい

編集発行/明石防火協会(明石市消防本部予防課内)
〒673-0044 明石市藤江924番地の8
TEL(078)918-5272 FAX(078)918-5983
ホームページアドレス: http://www.akashi-bouka.jp/



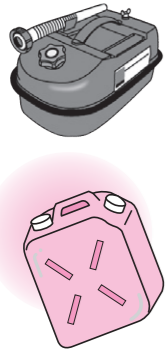
平成二十六年九月二十五日(木)午後二時から明石市防災センター多目的ホール及び明石市消防本部訓練施設において、平成二十六年度自衛消防隊訓練指導会が実施されました。

台風が接近しておりましたが、明石市内では被害もなく通り過ぎ、予定どおりに六十七事業所、九十九名の参加をえて実施されました。

今年の訓練は、昨年の訓練アンケート結果で訓練要望が実働型と研修型とに二分されたため、研修型の訓練となりました。

第一部では多目的ホールにて、事業所等における火災事例等から火災事故の発生危険を探り、未然防止対策や安全管理について知識・思想を深めました。

第二部では訓練施設にて、引火性液体等の燃焼実験を行い、ガソリン、灯油等の身近に存在する引火性液体の燃焼実験や小麦粉を例にした粉塵爆発の実験を行い、各々の性質特性を学び、その危険性、危険度合の認識を深めました。



平成二十六年度自衛消防隊訓練指導会

この一、二年で「避難勧告」や「避難指示」という言葉を聞くことが非常に多くなっています。統計上ではありませんが、その背景には集中豪雨の多発、強い台風の襲来、気象予報の進歩等があげられ、何よりも各市町村が積極的に発令をするようになったからだと思います。

これまでは、「被害が発生しそうだ」という場合でも、「空振り」や避難所開設などの十分な体制確保が難しかったことから、避難勧告や避難指示を出すのに対して迷いや躊躇があったのは事実だと思います。

また、時間帯や被害状況によっても大きな影響を与えます。平成二十一年八月の佐用町を中心とした「兵庫県西・北部豪雨」では、佐用町は暗くなった午後八時を回ってから避難勧告を出し、住民が避難の際に増水した水路に流され五人が死亡してしまつたというところもあるのです。

今回の広島市の土砂災害でも、避難勧告の是非が問題となつていますが、もし、広島市が深夜の時間帯に避難勧告を出していれば、助かった命があるかもしれませんし、佐用町と同じように避難中に命を落とす人もいたかもしれません。

避難勧告や避難指示が広範囲に出された場合の避難率は、1%にも満たないというデータもあり、「避難勧告が出たから避難しなきゃ」「避難勧告が出ていないので家について安心」では自分や家族の命を守ることができないのです。

自分の地域や建物構造を知り(傾斜地、標高、地盤、埋め立て地、過去の災害、耐震化など)、その時々々の状況で適切な判断に基づいて、気象庁の言う「命を守る行動」をとってもらふことが一番大切なことだと思つています。

あんしん情報



平成26年度 兵庫県危険物安全・安心大会



平成26年度 兵庫県危険物安全・安心大会表彰者

危険物安全週間中の平成二十六年六月十二日(木)「兵庫県公館」において、県下防火協会、保安協会関係者約三百名が参加し、盛大に行われました。

第一部の表彰式では、明石防火協会員の方が次のとおり受賞されました。

- 兵庫県危険物安全協会理事長表彰(優良事業所) 大和製衡株式会社
- 兵庫県危険物安全協会理事長表彰(優良取扱者) 有限会社ハシモト石油……………橋本 充生氏

第二部では神戸地方気象台 地震津波防災官 田原亮一氏による「南海トラフ巨大地震の想定と気象庁が発表する各種情報(地震・津波)の利用について」と題した基調講演がありました。

平成二十六年度 兵庫県危険物安全・安心大会

平成26年 上半期(1~6月)火災・救急の統計

火災の概要

平成26年上半期の明石市における火災件数は、44件・焼損床面積は155㎡・火災損害額3,450万円・死者2名・負傷者8名です。

●前年度の比較(上半期・件数)

| 区分 | 平成26年 | 平成25年 |
|-----|-------|-------|
| 建物 | 29 | 13 |
| 林野 | 0 | 0 |
| 車両 | 4 | 4 |
| 船舶 | 0 | 0 |
| その他 | 11 | 19 |
| 合計 | 44 | 36 |

●出火原因(件数)

| | |
|--------|----|
| 放火(含疑) | 9 |
| その他 | 7 |
| たばこ | 4 |
| 火遊び | 4 |
| ストーブ | 2 |
| こんろ | 8 |
| 排気管 | 1 |
| 電気機器 | 1 |
| 切・溶断機 | 1 |
| たき火 | 1 |
| 灯火 | 2 |
| 不明・調査中 | 4 |
| 合計 | 44 |

●火災損害

| | | |
|------|----------|-----------------------------|
| 焼損棟数 | 全焼 | 1棟 |
| | 半焼 | 0棟 |
| | 部分焼 | 10棟 |
| 焼損面積 | 155㎡ | |
| | り災世帯 | 全損 3世帯 半損 1世帯 小損 26世帯 |
| り災人員 | 74人 | |
| 損害額 | 34,500千円 | |
| 建物 | 33,638千円 | |
| 車両 | 460千円 | |
| その他 | 157千円 | |
| 爆発 | 245千円 | |

救急の概要

●前年度の比較(件数)

| 区分 | 平成26年 | 平成25年 |
|------|-------|-------|
| 火災 | 26 | 21 |
| 自然災害 | | |
| 水難 | | 7 |
| 交通事故 | 519 | 546 |
| 労働災害 | 28 | 37 |
| 運動競技 | 27 | 18 |
| 一般負傷 | 950 | 921 |
| 加害 | 50 | 42 |
| 自損行為 | 74 | 72 |
| 急病 | 4,005 | 3,896 |
| その他 | 714 | 762 |
| 合計 | 6,393 | 6,322 |



火災件数は44件で前年より8件増加しました。火災による死者は2名で1名増加し、負傷者は8名で4名増加しています。主な出火原因を見ると、1位が「放火・放火の疑い」9件、2位は「こんろ」で8件、3位が「その他」で7件となっています。火災件数の中で「建物火災」は29件で前年より16件増加し、「車両火災」は4件で増減なし、「その他火災」は11件で8件増えています。火災による死者は2名で1名増加、負傷者は8名で4名増加しています。また建物火災の中で損害額については、前年より772.8%と大きく増加しています。救急出動件数は6,393件で前年より71件増加しています。救急事故種別は1位急病4,005件、2位一般負傷950件、3位転院搬送574件となっています。

解体予定建物を利用した 煙避難訓練

平成二十六年六月十九日(木)六月十九日(木)キャタピラージャパン(株)明石事業所、平成二十六年九月三日(水)光明会明石病院の解体予定の建物内において、実際の建物を利用したスモークマシーンによる煙避難訓練を実施し、沢山の職員の方が参加し煙の恐ろしさを体験しました。

また、その建物を消防本部にも提供していたので、消防隊の指揮統制訓練や火災対応訓練、救助隊が瓦礫から救助者を救出するため、コンクリート壁に穴をあけるダンプリーチング訓練等を実施することができました。



自衛消防隊員研修

平成二十六年九月十日(水)、明石市防災センター及び消防署訓練場において、自衛消防隊員の訓練を実施しました。自衛消防隊員としての知識、技術を習得することを目的として、初期消火・避難誘導・応急救護などの訓練を実施するとともに、訓練礼式や救助訓練も体験しました。訓練には、シバタ工業(株)の社員二十二名が参加し、真剣な面持ちで取り組んでいました。



医療福祉防火管理研究部会

当部会の定例行事である視察研修が九月十一日(木)に実施されました。田中部会長以下部会員二十名が参加しました。今回は、京都市伏見区にある(株)モリタ製作所を見学しました。モリタ製作所は、歯科医療機器を中心とした精密機器を製造する事業所です。機器の製造工程や、シムロイドという人間の女性そっくりの歯科実習用ロボットを見学させていただきました。しっかりと構築された防火管理体制についても学ばせていただきました。昼食後、宇治市にある「平等院鳳凰堂」を見学し、楽しいひとときを過ごすことができました。



消防訓練のお知らせ

夜間の火災発生時における自衛消防隊活動を行う職員等がとるべき対応事項を検証するとともに、対応行動を施設等の防火安全上の条件である限界時間内に実施することを目標として訓練を実施します。また、検証することによって訓練実施の効果を確認し、改善を行うことにより、夜間の防火管理体制の強化を図っていきます。



訓練1
日時 平成二十六年十一月十七日(月) 十四時から十五時まで
場所 明石市林崎町二丁目一番三十一号 あさひ病院

訓練2
日時 平成二十六年十一月十一日(火) 十四時から十五時まで
場所 明石市田町二丁目一番十七号 まんてん堂グループホーム明石衣川

平成二十六年 秋季火災予防運動 十一月九日(日)～十五日(土)

「もういいかい 火を消すまでは まあだだよ」

【目的】 この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的としています。

【防火ポスター表彰式】 十月二十一日(火)

十月二十八日(火) 市役所二階ロビーで展示

十一月十日(月)～ 十一月十七日(月) イオン明石ショッピングセンター 一番街で展示

実施要領

- 1 住宅防火対策の推進
2 放火火災防止対策の推進
3 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
4 製品火災の発生防止に向けた取

5 組の推進 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底

【推進項目】 (1)住宅防火対策の推進

- 住宅用火災警報器の設定の徹底及び適切な維持管理の周知
住宅用消火器を始めとした住宅用防災機器等の普及促進
たばこ火災に係る注意喚起広報の実施
防炎品の普及促進
消防団、女性(婦人)防火クラブ及び自主防災組織等と連携した広報・普及啓発活動の推進
地域の実情に即した広報の推進
高齢者等の要配慮者の把握や安全対策に重点を置いた死者発生防止対策の推進
(2)放火火災防止対策の推進
放火火災に対する地域の対応力の向上
パチンコ店及び物品販売店舗における放火火災防止対策の徹底
効果的な放火火災被害の軽減対策の実施
(3)特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
防火管理体制の充実
避難施設等及び老朽化消火器を始めとする消防設備等の維持管理の徹底
防炎物品の使用の徹底及び防炎製品の使用の促進
防火対象物定期点検報告制度及び防火管理点検報告制度の周知徹底
違反のある防火対象物に対する是正指導の推進
ホテル・旅館等における防火安全対策の徹底

キ 表示制度及び公表制度の取組の推進
ク 高齢者や障がい者等が入居する小規模福祉施設における防火安全対策の徹底
ケ 有床診療所・病院等における防火安全対策の徹底
ク 製品の適切な使用・維持管理及び製品火災に関する注意情報等の周知徹底

(4)製品火災の発生防止に向けた取組の推進

(5)多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底

【実施事項】 (1)広報

- 「広報あかし」に火災予防運動記事掲載
消防本部ホームページに火災予防運動紹介
防火ポスターの作成・配布
消防本部及び各署で横断幕、懸垂幕、のぼり旗の掲出
屋外文字広報による火災予防のよびかけ
自治会回覧等を活用し、住宅用火災警報器、たばこ(ライター)の火災予防及び石油ストーブ火災予防に関する啓発を実施
(2)啓発行事
防火ポスター展の開催
防火パレードの実施(消防団、婦人防火クラブ)
消防訓練の実施
防災指導・イベント等における住宅用防災機器等の設置促進及び広報

平成二十六年 明石市危険物防災講演会

平成二十六年六月十日(火)明石市産業交流センターにおいて、市内に危険物施設を所有する事業所の保安業務担当者に対して、危険物の保安に対する意識の高揚、啓発を推進することにより自主保安体制の確立及び危険物の起因する事故災害の防止を図ることを目的に、危険物防災講演会を開催しました。東京工業大学客員教授 中村昌允氏を講師に迎え、「化学プラントの事故から学ぶ安全管理」と題し講演会が行われ、市内の四十五事業所から百六名の方が熱心に受講されました。

